



2025 年 10 月 31 日

各 位

会社名 日東富士製粉株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮原 朋宏
(コード：2003 東証スタンダード)
問合せ先 執行役員管理本部副本部長
兼総務部長 坂田 喜章
(TEL. 03-3553-8781)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2025 年 10 月 31 日開催の取締役会において、2025 年 5 月 7 日の 2025 年 3 月期決算発表時に開示した 2026 年 3 月期の通期業績予想を修正することを決議しましたので、お知らせ致します。

記

1. 2026 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 73,000	百万円 4,900	百万円 5,400	百万円 4,200	円 銭 461.28
今回修正予想 (B)	73,000	3,500	4,100	3,100	340.47
増減額 (B-A)	0	△ 1,400	△ 1,300	△ 1,100	
増減率 (%)	0.0	△ 28.6	△ 24.1	△ 26.2	
(ご参考) 前期実績 (2025 年 3 月期)	72,341	5,096	5,559	3,550	389.96

2. 修正の理由

当社は、昨年 10 月に静岡食品工場にて発生したプレミックス製品の回収事案を受けて、当社の各工場の整備点検を強化しておりますが、この過程で、一部の工場において、老朽化が進んでいる設備が見つかった為、当該設備の使用の一時的停止も含む、大幅な設備更新を伴う補修・修繕を実

施します。修繕の詳細については、進捗状況を踏まえながら順次検討してまいります。これに伴い、一部の製品については、他工場への切り替えや出荷量・時期の調整を実施しております。

尚、今回の大規模修繕は当年度から来年度に掛けて実施する予定です。10月31日に公表した業績予想には、当年度発生予定修繕費用に加えて、設備更新に伴う追加償却費用、老朽化設備の除却費用、補修期間の一時的な出荷量減少の影響を織り込んでおります。

3. 中期経営計画 2026 への影響について

当社は2024年5月20日公表の「中期経営計画 2026」に掲げた重要課題への対応として、人的資本の最適化や物流事業の再編、調達の最適化、開発と一体となった営業体制の構築といった事業戦略を着実に実行しております。しかし、今回の大規模修繕への対応により、成長投資や生産拠点の最適化等の重要施策に遅れが生じており、「中期経営計画 2026」にて掲げた最終年度の財務 KPI 達成時期も後ろ倒しになる見通しです。

なお、当社としては、大規模修繕も含む生産拠点の最適化等の各種施策の推進によって、基礎収益¹の巡航水準への回復を見込んでおります。2027年度以降の事業環境を踏まえた中期経営計画につきましては、来春を目途にローリング方式にて公表する予定です。

4. 株主還元方針の考え方

今回の業績下方修正は、中長期的な基礎収益の拡大に資する一時的な対応であり、当社が掲げる安定的な配当方針に変更はありません。

については、「中期経営計画 2026」で公表した累進配当は継続し、2026年3月期の期末配当金は1株当たり140円、年間配当金は1株当たり280円を維持する方針に変更はありません。

以 上

¹ 基礎収益の定義：[営業利益-配合飼料用副産物損益] × (1-実効税率) + 事業投資損益（持分利益）